

学校保健

野村 菜穂

共同研究者 河田 史宝（金沢大学）

1. 伝統文化教育を進めるにあたって

これまで学校保健では、ESDの視点に立った保健指導として「コミュニケーションを行う力」と「他者と協力する態度」を重視する能力・態度として研究に取り組んできた。保健指導の題材をストレスマネジメントと設定し、人間関係を円滑にするコミュニケーションの方法を学ぶことを通して、他者理解を深めることにより自己の心の健康を保ちながら健康な生活を送ろうとする力を育むことを目的にしてきた。グローバル化する社会の中で、生徒は今後、異なった考え方や生き方を持った人々と関わり合い、協力し合って生きていくことになる。そのため、自分も相手も大切にできる心や自己尊重のコミュニケーションを大切にできるアサーションの考え方は、これまでも増して必要とされる。さらに、思想や思考の多様性を理解することも必要であり、異文化を大切にしようとする心や価値観の違いを認め合う心を育むことが重要であると考えた。

そこで、今までの研究を踏まえ、伝統文化教育を進めるにあたり、「日本人の心に関すること」を重点的に取り組みたいと考えた。日本の精神文化と言われる茶道の「茶の心」を題材として、相手への思いやりの心を育みたい。茶道は一服の茶を飲むまでに、様々な準備を必要とする。例えば、茶室までの露地を整える、茶室では季節に合わせた掛物で床の間を飾る、釜には茶を点てるための湯、懐石料理、茶道具など客を迎えるために心を込めた準備を行うが、このようなことを通して、相手を大切にできる心を考える機会としたい。また、古来より、人をもてなす心、思いやりの心が脈々と受け継がれてきた日本の伝統文化を理解し、誇りに思い、世界に発信していける力を育てていきたい。

2. 資質・能力の育成にあたって

(1) グローバル人材の育成について

グローバル化する社会の中で、現代的な諸問題に対応して求められる資質・能力のうち、学校保健では特にグローバル人材教育推進会議で示されている要素Ⅰ～Ⅲの「要素Ⅰ：コミュニケーション能力」を重視した。昨年度に学習した自己尊重のコミュニケーションを大切にできるアサーションやDESCL（デスクル）法を土台に、普段の生活の中でのコミュニケーションを振り返り、どのような言動や態度がうれしかったか話し合い、思いやりの心について気づき、考えさせたい。また、このような精神を基本とする茶道を通して、日本には昔から相手を思いやることを大切にできる伝統文化が続いており、誇りを持って世界に発信していける力を育みたい。

(2) 関連・連携の考えられる教科等について

コミュニケーション能力はどの教科においても必要な能力である。どのような場面においても、自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力を養う実践を行い、他教科とのつながりを持っていきたい。また、社会科で桃山文化の中で茶の湯や千利休を学び、美術科で茶碗を製作しており、茶道との関連が考えられる。

3. 成果と課題

(1) 保健指導

中学2年生に1時間の保健指導を行った。授業後の生徒の感想(152名分)を4ステップコーディングによる質的データ分析手法(SCAT)¹⁾により分析した。資料1はそのうちの12名の分析過程を示したものである。記述された文章の内容(テキスト)から「<1>テキスト内の注目すべき語句」「<2>テキスト内の語句の言い換え」「<3>左を説明するようなテキスト外の内容」「<4>テーマ・構成概念」を検討した。これをもとにストーリーラインを書き、理論記述を試みた。(資料1)

資料1 SCATを援用した質的データ分析：保健指導後の感想

記述	テキスト	<1>テキスト中の注目すべき語句	<2>テキスト中の語句の言い換え	<3>左を説明するようなテキスト外の内容	<4>テーマ・構成概念
440	思いやるということは人とコミュニケーションするにあたって必要不可欠なものだと思います。茶道に関してもお互いが気遣い、思いやらないと現代まで続いていかなかったと思います。今回の授業でより思いやって人と接していこうという考えがより大きくなりました。	思いやる、コミュニケーション、必要不可欠、茶道、気遣い、より大きく	配慮、会話、なくてはならない、茶道、思いやり、増大	茶道に対する興味、実践への意欲	茶道を認識、実践への意欲
136	思いやりの心は昔からあって、それを伝えたり大事にししたりする手段の一つが茶道だということを知れた。相手を互いに敬うことや心を和らげるといったことを心掛けながら人と接するようにしたい。	思いやりの心、昔、伝える、大事、手段、茶道、敬う、和らげる、心掛ける	配慮心、過去、伝道、大切、方法、茶道、尊敬、柔和、気を付ける	茶道に対する興味、実践への意欲	茶道を認識、実践への意欲
213	日本の古い文化にも相手のことを気遣う気持ちがはっきりと表れていることが改めて分かった。自分も相手のことを思いながら人とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思った。	日本、古い、文化、気遣う、気持ち、はっきり、コミュニケーションを大切に	自国、昔、文化、思いやり、心、明確、会話、大事	日本文化に対する興味、実践への意欲	日本文化を認識、実践への意欲
417	何事も思いやるということはとても大事なんだと思った。茶道は人を思いやることを第一にしているから、ここまで続けてきたんだと実感した。僕も人を思いやるということを意識してこれからの生活を生きていこうと思いました。	思いやる、大事、茶道、第一、続けてきた、意識、生きて	配慮、大切、茶道、一番、継続、気付き、生命	茶道に対する興味、実践への意欲	茶道を認識、実践への意欲
438	茶道とは日本の文化の一つとして頭に残っていたが、それはお茶を点てる準備からたくさん思いやる心が見られると知り、より興味を持ちました。また、思いやる心を持つということは、後世にも受け継がせるべきものだと思います。思いやる心は昔と今でも変わらず大切なことだと思います。	茶道、日本、文化、思いやる心、興味、後世、受け継がせる、昔、変わらず、大切	茶道、自国、文化、配慮心、関心、未来、継続、過去、不変、大事	茶道に対する興味、日本文化に対する興味、継承の意思	茶道を認識、日本文化を認識、継承の意思
129	今日の授業では「人を思いやる心」がずっと昔からあると感じました。茶道について考えた時、今までは考えていなかった茶道の中にある思いやりの心に気づくことができ、よかったです。人々の思いが詰まった茶道だからこそ、日本が誇り、後世に継承していかなければならない伝統だと思いました。	思いやる心、昔、茶道、気づく、よかった、日本、誇り、後世、継承、伝統	配慮心、過去、茶道、意識、満足、自国、名誉、未来、受け継ぐ、長期継承	茶道に対する興味、思いやりの心に対する興味、日本文化への誇り、継承の意思	茶道を認識、思いやりの心を認識、日本文化への誇り、継承の意思
137	今日の授業によって人のことを思いやってコミュニケーションを行うということが再確認できました。また、昔から日本人は思いやり、おもてなしの精神を持ち、日々の生活を行っていたことがわかりました。今では文明も発達し、新たなことがどんどん発明されていますが、昔からの思いやり、おもてなしという考え方を忘れないように常に考えていけたらいいなと思います。	コミュニケーション、再確認、昔、日本人、思いやり、精神、忘れない、常に	会話、改めて認識、過去、自国人、配慮心、記憶、常時	思いやりの心に対する興味	思いやりの心を認識
328	自分たちがこれからのより良い学校生活を送るには、1人1人の思いやりが大切になってくるのではないかなと思いました。思いやりを行動に表せばほとんどみんなうれしい気持ちになってくれると思うので、たくさんの人に思いやりの心を持って接したいなと思いました。多くの人に笑顔で接したいです。	思いやり、大切、行動、うれしい、気持ち、たくさん、接し、笑顔	配慮、大事、行為、満足、心、多い、関わり、笑い	思いやりの心を持って行動する意欲	思いやりの心を持って行動する意欲
133	思いやりの大切さや日本人が思いやりの心を大切に、今まで伝えてきたことってとても素晴らしいことだなと思った。	思いやり、大切、日本人、伝えて、素晴らしい	配慮、大事、自国人、伝道、尊敬	思いやりの心を引き継いでいく継承の意思	思いやりの心を引き継いでいく継承の意思
309	思いやりの心というのは私たちが生きる上で身に付けなければならないものの一つだと私は思う。気持ちの良いコミュニケーションのためにもそうだが、日本の文化においても大きく関わっているものなので大事にしていきたいと思った。	思いやりの心、生きる、身に付く、気持ちの良いコミュニケーション、日本、文化、関わる、大事	配慮心、生命、体得、良好な会話、自国、文化、関係、大切	思いやりの心に対する興味、日本文化への誇り	思いやりの心を認識、日本文化への誇り
130	相手の気持ちを考えるという考えは昔からあって、それが茶道につながっていたというのがわかりました。茶道でもアサーションが使われているというのがびっくり。昔から伝わる茶道だからこそこの考え方が今日も続いているということを誇りを持ってこれからも継承していきたいです。	相手の気持ちを考える、昔、茶道、つながる、和らげ、話し合う、尊重、大切、アサーション、びっくり、伝わる、続いている、誇り、継承	思いやりの心、過去、茶道、関係、柔和、会話、敬う、大事、アサーション、驚き、伝道、継続、名誉、受け継ぐ	日本文化への誇り、継承の意思、茶道に対する興味	日本文化への誇り、継承の意思、茶道を認識
232	普段は意識していないけれど、コミュニケーション中でうれしい瞬間はたくさんあると思いました。相手を持ってコミュニケーションをするのは重要だと感じました。また、日本人は昔から相手のことを考えて思いやっているということが分かりました。自分もその日本人の心の伝統を引き継いでいきたいです。	コミュニケーション、うれしい、瞬間、たくさん、重要、日本人、昔、思いやって、伝統、引き継ぐ	会話、満足、時、多い、大切、自国人、過去、配慮、文化、継承	継承の意思	継承の意思

ストーリーライン	<p>(茶道と思いやりの心の関係を認識)</p> <p>茶道について漠然とは知っていたが、改めて学習することによって、茶道と思いやりの心は一見関係がなさそうに思っていたが、茶道の中にある思いやりの心に気づくことができていた。茶道の流れの一つ一つには、それぞれに客人をもてなすという思いやりの心があって、どの動作も大切だと分かったという相手を思いやる心が本質としてあることとして<u>茶道を認識</u>していた。</p> <p>茶道が500年も前から続いていることに対して、茶道は思いやりの心を今の時代まで伝えてくれた、茶道という形で思いやりの心が受け継がれてきた、思いやりの心は昔も今も変わらず大切にされてきた、茶道は日本人の思いやりの心を育ててきたと受け継がれてきたことを<u>誇りに思い</u>、自分も受け継ぎたい、加えて、後世に人を思いやる心を伝えていかなければならないと<u>継承の意思</u>を持っていた。また、茶道を世界にも発信し、思いやりの文化を広めていきたいと<u>発信への意欲</u>を持っていた。</p> <p>茶道のように互いを思う気持ちが大切になってくる日本の文化をもっと知りたい、茶道以外の文化についても調べてみたいと<u>日本文化探求の意思</u>を持っていた。さらに、他国には茶道のような思いやりの心を大切にされた文化があるのか気になったと他国の文化に対して興味関心を持っていた。</p> <p>茶道の心は日常に使えるものだと思うので良好なコミュニケーションを行っていくために茶の心を忘れないようにしたいと茶道から学んだ<u>思いやりの心を認識</u>していた。さらに、茶道だけでなく普段至る所に思いやりの心を持っていたらみんなが楽しく明るくなると思う、思いやりの心を持って生活したいと<u>実践への意欲</u>を持っていた。</p>
理論記述	<p>中学2年生への保健指導として、昨年度に学習した自他尊重のコミュニケーションを大切にするアサーションやDESC法に必要な思いやりの心と<u>茶道との関係を認識</u>できていた。思いやりの心を大切にしてきた茶道という日本文化に<u>誇り</u>を持ち、日々の生活の中で<u>思いやりの心を持って行動する意欲</u>を持つことにつながっていた。また、茶道という日本文化を学んだことで、日本文化の素晴らしさを再確認し、日本人としての<u>誇り</u>を持ち、日本文化の素晴らしさを未来へ<u>継承</u>していく<u>意思</u>や世界へ<u>発信</u>していく<u>意欲</u>を持っていた。以上より、現代的な諸問題に対応して求められる資質・能力のうち、グローバル人材教育推進会議で示されている要素Ⅰ～Ⅲの「要素Ⅰ：コミュニケーション能力」が高められたと考える。</p>

(下線部は、〈4〉テーマ・構成概念から抽出した語句)

参考文献

- 1) 大谷尚 「4ステップコーディングによる質的データ分析手法 SCAT の提案」 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 (教育科学) 2007
- 2) 鈴木薫, 浅田知恵, 五十嵐利恵 他 : 『自然災害』に遭遇した子どもへの養護教諭の対応 57頁～70頁 日本健康相談活動学会誌 Vol.9 No.1 2014

実践事例

学校保健 2 年

授業者 野村 菜穂	授業日 11月17日(金)4限、21日(火)3限、 22日(水)4限、23日(木)1限	
授業クラス, 教科等名	2年 1. 2. 3. 4組	関係・連携の考えられる教科等 社会(歴史)、美術
扱う伝統文化 ・生活文化 ・地域文化	授業内容 ・ 伝統文化 ・現代の日本文化	授業内容 ・普段の生活の中でのコミュニケーションを振り返り、思いやりの心について気づき、考える。 ・人をもてなす心、思いやりの心が脈々と受け継がれてきた日本の伝統文化(茶道)を理解する。
特に関わる要素Ⅰ～Ⅲ 要素Ⅰ：語学力・ コミュニケーション能力 要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神 協調性・柔軟性、責任感・使命感 要素Ⅲ：異文化に対する理解と 日本人としてのアイデンティティー	教科等で身に付けたい力(本時について) 思いやりの心を学ぶことを通して、他者理解を深め、異文化を大切にしようとする心や価値観の違いを認め合う心を育むことができる生徒の育成につなげたい。	
<p>授業のポイント・流れ(見て欲しい部分、要素Ⅰ～Ⅲに関わるポイントなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の授業の学習内容を確認する。 ○最近、コミュニケーションを行う中でうれしかった言葉・態度について話し合う。 友達の考えと自分の考えを比較し、いろいろな考え方があることを知るためにグループ活動を行う。 (要素Ⅰ コミュニケーション能力) ・ピアサポートについて説明する。 ・茶の歴史、茶道とは、茶の心について説明する。 ・茶道が昔から続いている理由について考え、日本には昔から相手を思いやることを大切に する伝統文化が続いており、誇りを持って受け継いでいくことが大切としてまとめる。 		